

一般社団法人 National Clinical Database

2017 年度事業計画書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施する。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を各学会より受け付けその改訂を行い、収集データの改善を図る。
- ソフトウェア品質を確保しながら効率的な開発及び標準的な業務手順を検証する。
- 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能の充実を図る。
- 追跡調査の補助機能を開発し、フォローアップ入力率向上に寄与する。
- **DPC**・レセプトデータを利用し、医療の質・効率性の評価・分析研究を予定する。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 日本泌尿器科学会の参画、日本形成外科学会の参画に伴う症例登録システム機能の開発及び運用を行う。
- 日本病理学会において、剖検輯報データベースを運用し、さらに独自運用してきたデータベースを **NCD** へ移行検討を行う。
- 日本再生医療学会において、再生医療等臨床研究データシステムの運用設計を行う。
- **NCD** データダウンロード（自施設データ利用）を試行し、自施設における医療品質の評価や改善に寄与する。
- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートの作成を通じて臨床的検討に寄与する。
- 各領域の **Web** オーディット、**E** ラーニングのコンテンツづくりに寄与する。
- 電子カルテシステムに **NCD** 症例アップロード機能を搭載するための可能性を検証する。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 学会専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を行う。
- 学術団体向けの **DB** 初期開発に関するガイダンス及び **Q&A** 事項を共有する。
- 各領域の医療機器等の製造販売後調査に伴う症例登録システムの開発・運用の連携を行う。
- **NCD** セミナーの企画又は各領域の学術総会を通じた事務局間での情報連携に努める。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 経理業務（**AMED** 案件を含む）、施設会費の問い合わせ業務、会員登録に伴う業務。
- **NCD** の業務から派生する知的財産の管理、情報セキュリティ対策、法・倫理的課題の解決。

以上、今後も引き続き、会員との有機的な活動を志して、**NCD** 事業に資する社会的経済的な分担と協力のもと、各業務プロセスの最適化が求められる。